



頂上目指して残雪を踏みしめる参加者



## 残雪踏みしめ山頂へ

### 第46回栗駒山山開き

栗駒山(須川岳・標高1627m)山開きは5月13日、行われました。須川高原温泉前駐車場で山での安全を祈願した後、約100人の参加者らが残雪を踏みしめて山頂を目指しました。暖冬の影響で残雪は例年の半分程度。小雨がぱらつき頂上付近はガスのかかるあいにくの天候でしたが、参加者はすがすがしい須川の自然を楽しみました。

6人の仲間で参加したという成ヶ澤敏子さん(宮古市)は「栗駒山も雪のある時期の登山も初めてでしたが、山から見下ろした雄大な景色を楽しみました。新緑や紅葉の季節にまた来たいですね」と満足そうでした。

栗駒山は11月上旬まで、多くの登山客でにぎわいます。

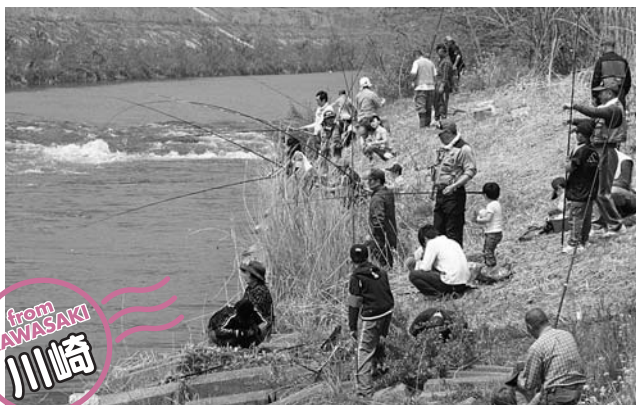
## ねえ、何匹釣れた？

### 砂鉄川河川清掃と釣り大会

河川のごみ拾いや釣りを通して自然環境の保護と保全に努め、水質汚濁防止を呼びかけようと5月4日、門崎地内の砂鉄川門崎橋上流河川敷で「砂鉄川に親しむ集い」が催されました。

さわやかな青空の下、親子連れなど約100人が全員で河川敷のごみを拾うと、短時間のうちにビニール片や空き缶、古タイヤなどが集まりました。

その後、前日に約3000匹のニジマスを放流した特設の釣り場で釣り大会が行われ、小さな太公望たちは夢中になって楽しみました。釣りが楽しめるきれいな川を守ることの大切さを感じた1日となりました。



釣り上げるタイミングを覚えて熱中する子どもたち



簡単そうに見えて思うように進めません

## 難コースにチャレンジ

### トラバースボルダリング大会

アストロ・ロマン大東では5月3日から5日まで、ちびっ子釣り大会をはじめさまざまな自然体験事業が催され、好天の中多くの家族連れでにぎわいました。

4日には「第1回ちびっ子トラバースボルダリング大会」が行われ、市内外から約20人の小学生が参加しタイムを競いました。トラバースボルダリングはフリークライミングの一種で、壁に付いている小さな突起物につかまりながら横に移動しゴールを目指すスポーツレクリエーション。子どもたちは、手や足を滑らせるなど難コースに悪戦苦闘しながらも、家族らの声援を受け最後まであきらめずに頑張りました。

